



2020年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年5月8日

上場会社名 株式会社アイナボホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 7539 URL http://www.ainavo.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 阿部一成
 問合せ先責任者 (役職名) 管理統括部長 (氏名) 奥山学志 (TEL) 03-4570-1316
 四半期報告書提出予定日 2020年5月11日 配当支払開始予定日 2020年6月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年9月期第2四半期の連結業績(2019年10月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第2四半期	35,646	0.1	1,552	0.3	1,670	△0.8	1,060	4.1
2019年9月期第2四半期	35,597	8.0	1,547	54.9	1,684	54.0	1,017	47.1

(注) 包括利益 2020年9月期第2四半期 940百万円(2.1%) 2019年9月期第2四半期 921百万円(34.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第2四半期	91.65	—
2019年9月期第2四半期	88.01	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年9月期第2四半期	36,430	20,851	57.2
2019年9月期	36,327	20,141	55.4

(参考) 自己資本 2020年9月期第2四半期 20,851百万円 2019年9月期 20,141百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期	—	16.00	—	20.00	36.00
2020年9月期	—	17.00			
2020年9月期(予想)			—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2020年9月期の期末配当予想につきましては、未定とさせていただきます業績予想の算出が可能となった段階で配当予想を速やかに公表いたします。詳細は本日公表の「業績予想および配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2020年9月期の連結業績予想(2019年10月1日～2020年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2020年9月期の期末業績予想につきましては、未定とさせていただきます業績予想の合理的に算定が可能となった段階で業績予想を速やかに公表いたします。詳細は本日公表の「業績予想および配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年9月期2Q	11,647,820株	2019年9月期	11,647,820株
② 期末自己株式数	2020年9月期2Q	81,914株	2019年9月期	81,874株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年9月期2Q	11,565,939株	2019年9月期2Q	11,566,033株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、四半期決算の説明資料及び説明動画を作成しており、四半期決算発表後、速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は、戸建住宅向け外壁工事や首都圏での大型物件向けタイル及び住設工事の完成が順調に推移した一方、中部エリアでの戸建住宅向け住設商材の売上が前年を下回ったことにより、356億46百万円と前年同四半期に比べ48百万円(0.1%)の増収となりました。損益面につきましては、営業利益は15億52百万円と前年同四半期に比べ5百万円(0.3%)の増益、経常利益は16億70百万円と前年同四半期に比べ14百万円(0.8%)の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は10億60百万円と前年同四半期に比べ42百万円(4.1%)の増益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(戸建住宅事業)

戸建住宅の市況につきましては、持家の新築着工数が3月まで8か月連続で前年を下回り、また貸家の新築着工数も依然前年を大幅に下回る状況に加え、住宅リフォーム市場の景況感についても消費増税後の悪化からいったんは回復傾向にあったものの、新型コロナウイルスの影響を懸念する声も大きくなるなど、力強さに欠ける状況で推移しました。

このような事業環境のもと、タイル・建材販売につきましては、売上高は前年並みに推移しました。その主な要因としましては、前年に大きく伸長したオリジナルブランドタイルが前年比マイナスで推移したものの、木質建材、プレカット材の販売が増加したことによるものであります。タイル・建材工事につきましては、売上高は前年を上回りました。その主な要因としましては、ハウスメーカーからの外壁タイル工事の受注が増加したことに加え、工務店向けサッシの出荷が好調に推移したことによるものであります。住宅設備機器関連販売及び工事につきましては、売上高は前年比マイナスで推移しました。その主な要因としましては、特定のビルダー向けのユニットバス商材がスペックアウトしたことや、新型コロナウイルスの影響による衛生機器等の納期遅延により、受注高の減少や売上の期ずれが発生したことによるものであります。

以上の結果、戸建住宅事業の売上高は298億56百万円と前年同四半期に比べ7億86百万円(2.6%)の減収、セグメント利益は15億32百万円と前年同四半期に比べ2億円(11.6%)減益となりました。

(大型物件事業)

大型物件事業の市況につきましては、2月まで7か月連続で民間の非住宅投資が前年を下回り、またマンションの着工数についても前期比で11月・1月・3月は20%以上減となるなど、先行き不透明な状況で推移しました。

このような事業環境のもと、タイル工事につきましては、売上高は前年を上回りました。その主な要因としましては、東京オリンピック・パラリンピック施設や首都圏の大規模再開発施設の工事が順調に推移したことによるものであります。住宅設備販売及び工事につきましては、売上高は前年を上回りました。その主な要因としましては、リニューアル工事やリフォーム商材の納材が増加するとともに、首都圏において、特定の既存顧客からの大型マンション向けユニットバス工事の納材が当中間期に集中したことによるものであります。空調衛生設備工事につきましては、売上高は前年並に推移しました。主な要因としましては、官公庁物件の工事が引き続き好調に推移したことによるものであります。

以上の結果、大型物件事業の売上高は57億89百万円と前年同四半期に比べ8億35百万円(16.9%)の増収、セグメント利益は6億81百万円と前年同四半期に比べ2億49百万円(57.7%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ1億2百万円増加し、364億30百万円となりました。これは主として、未成工事支出金が3億8百万円、受取手形・完成工事未収入金等が9億52百万円増加した一方で、現金及び預金が8億43百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ6億6百万円減少し、155億78百万円となりました。これは主として、短期借入金が4億円、ファクタリング未払金が1億99百万円増加した一方で未払法人税等が3億77百万円、未払費用(流動負債、その他)が5億8百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ7億9百万円増加し、208億51百万円となりました。これは主として、利益剰余金が8億28百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年9月期の業績予想につきましては、本日公表いたしました「業績予想および配当予想に関するお知らせ」に記載の通り、新型コロナウイルス感染拡大による影響が不透明であり業績予想の合理的な算出が困難なため、2019年11月14日に公表した通期業績予想を一旦取り下げ、未定とさせていただきます算出が可能となった段階で速やかに公表させていただきます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,929,563	10,085,970
受取手形・完成工事未収入金等	13,151,721	14,103,819
商品	528,635	646,612
未成工事支出金	1,590,882	1,899,496
その他	743,817	634,500
貸倒引当金	△45,011	△37,248
流動資産合計	26,899,608	27,333,150
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,350,579	1,327,552
機械装置及び運搬具（純額）	5,250	6,358
工具、器具及び備品（純額）	64,932	73,394
土地	4,291,163	4,291,163
リース資産（純額）	24,715	38,181
建設仮勘定	6,343	—
有形固定資産合計	5,742,986	5,736,650
無形固定資産		
のれん	272,107	249,431
その他	426,999	391,323
無形固定資産合計	699,107	640,755
投資その他の資産		
投資有価証券	1,129,965	1,009,008
長期貸付金	380	—
退職給付に係る資産	300,021	305,863
繰延税金資産	434,276	296,113
その他	1,389,999	1,374,598
貸倒引当金	△268,940	△266,063
投資その他の資産合計	2,985,701	2,719,520
固定資産合計	9,427,795	9,096,926
資産合計	36,327,403	36,430,077

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	7,547,980	7,257,361
ファクタリング未払金	3,687,472	3,886,766
短期借入金	215,000	615,000
リース債務	10,069	13,528
未払法人税等	851,078	473,483
未成工事受入金	573,731	625,293
完成工事補償引当金	44,959	41,343
工事損失引当金	39,201	74,744
その他	1,826,501	1,222,064
流動負債合計	14,795,994	14,209,585
固定負債		
長期借入金	191,250	183,750
リース債務	16,713	28,421
繰延税金負債	131,529	105,055
役員退職慰労未払金	102,530	102,530
退職給付に係る負債	92,065	96,535
その他	855,438	853,049
固定負債合計	1,389,526	1,369,342
負債合計	16,185,521	15,578,927
純資産の部		
株主資本		
資本金	896,350	896,350
資本剰余金	1,360,916	1,360,916
利益剰余金	17,579,424	18,408,155
自己株式	△33,489	△33,520
株主資本合計	19,803,201	20,631,901
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	130,687	22,409
退職給付に係る調整累計額	207,992	196,839
その他の包括利益累計額合計	338,680	219,248
純資産合計	20,141,882	20,851,149
負債純資産合計	36,327,403	36,430,077

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年10月1日 至2019年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年10月1日 至2020年3月31日)
売上高	35,597,102	35,646,023
売上原価	30,385,480	30,334,067
売上総利益	5,211,622	5,311,956
販売費及び一般管理費	3,664,579	3,759,858
営業利益	1,547,042	1,552,097
営業外収益		
受取利息	1,190	1,077
受取配当金	9,517	13,001
仕入割引	53,675	46,990
不動産賃貸料	66,565	62,908
その他	48,900	28,087
営業外収益合計	179,848	152,064
営業外費用		
支払利息	8,803	6,449
支払手数料	2,334	2,164
不動産賃貸原価	28,829	24,346
その他	2,395	743
営業外費用合計	42,363	33,704
経常利益	1,684,528	1,670,457
特別利益		
固定資産売却益	28,684	69
投資有価証券売却益	—	12,590
特別利益合計	28,684	12,660
特別損失		
固定資産除却損	5,767	3,135
投資有価証券評価損	12,371	687
特別損失合計	18,139	3,822
税金等調整前四半期純利益	1,695,073	1,679,295
法人税、住民税及び事業税	635,470	467,278
法人税等調整額	41,637	151,967
法人税等合計	677,108	619,245
四半期純利益	1,017,964	1,060,050
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,017,964	1,060,050

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年10月1日 至2019年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年10月1日 至2020年3月31日)
四半期純利益	1,017,964	1,060,050
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△90,912	△108,278
退職給付に係る調整額	△6,023	△11,153
その他の包括利益合計	△96,936	△119,432
四半期包括利益	921,027	940,618
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	921,027	940,618
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年10月1日至2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	大型物件事業	戸建住宅事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,954,279	30,642,823	35,597,102	—	35,597,102
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	2,580	2,580	△2,580	—
計	4,954,279	30,645,404	35,599,683	△2,580	35,597,102
セグメント利益	432,174	1,732,276	2,164,450	△617,408	1,547,042

(注)1 セグメント利益の調整額△617,408千円はセグメント間取引消去62,520千円と各報告セグメントに配分していない全社費用△679,928千円が含まれております。全社費用は主に、総務、経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年10月1日至2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	大型物件事業	戸建住宅事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,789,403	29,856,620	35,646,023	—	35,646,023
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	2,279	2,279	△2,279	—
計	5,789,403	29,858,899	35,648,302	△2,279	35,646,023
セグメント利益	681,527	1,532,078	2,213,605	△661,508	1,552,097

(注)1 セグメント利益の調整額△661,508千円はセグメント間取引消去98,637千円と各報告セグメントに配分していない全社費用△760,146千円が含まれております。全社費用は主に、総務、経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。